

脱炭素社会の実現に

向けて、熱を効率的に利用する「エレクトロヒート技術」の社会的役割が増している。地球温暖化対策とエネルギーコストの削減を両立でき、企業の競争力強化にもつながる。モノづくり現場での活用事例や、装置・機器メーカーの動向を追う。

モノづくり現場

(第二部) 生産革新・脱炭素社会への挑戦

1

◇ ◇
サンドビックマテリアルは次世代に豊かな環境を残すため「酸化物炭素(CO₂)排出量削減を指し、顧客3・5651・885に最適な設計・素材で1)は、金属材料で世電化を推進する。精密界展開するスウェーデン温度調整が必要な半導体製造工程などに適した電気ヒートシステムで、社会貢献とともに

サンドビックマテリアルズ
テクノロジージャパン

最適設計・素材でCO₂削減

電気ヒーター、高精度温室管理



に導入先の効率化や品質安定に寄与している。例えばアルミニウム

溶湯を入れる取鍋で、温度低下を防ぐためあらかじめ加熱する際は、取鍋が一般的の影響を受けず、取鍋の内・外部ともに均一な加熱も実現した。設計・製造した。バーナー予熱は取鍋と予熱装置間にガス対流用の隙間が必要だが電気なら不要。隙間からの熱漏れを防止して熱効率を改善した。実績ベイスでバーナー加熱のエネルギーを、268°Fが必要で正確な流量制御が必要なEGR(排気ガス再循環装置)削減のため電化を進め(月・木曜日に掲載)

【事務所概要】▽所在地 東京都中央区日本橋浜町2の1の1、03・5651・8851▽主要事業 1) カンタル線、グローバ(炭化ケイ素)、カンタル線、シリコン(シリコン)を用いたモジュールヒーターなどの電気抵抗加熱ヒーターのソリューション提供